



Red Hat Insights 1.0

Ansible Playbook 統合を使用した Insights メンテナンスプランの作成

Insights メンテナンスプランのための Ansible Playbooks の生成ガイド

Red Hat Insights 1.0 Ansible Playbook 統合を使用した Insights メンテナンスプランの作成

Insights メンテナンスプランのための Ansible Playbooks の生成ガイド

法律上の通知

Copyright © 2018 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution-Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Red Hat Insights と Ansible Playbook の統合により、システム管理者は時間を節約し、生産性を高め、反復的な作業を排除し、エラーを削減またはなくすことができます。Red Hat Insights は、Ansible Playbook を Insights のメンテナンスプランに統合する機能を追加しています。本ガイドは、Red Hat Insights のユーザーが、Red Hat カスタマーポータル上の Insights UI から、Ansible Playbook の利点すべてを活用するメンテナンスプランの策定に役立ちます。

目次

第1章 はじめに	3
1.1. はじめに	3
制限	3
前提条件	3
第2章 プランの作成	4
2.1. INSIGHTS メンテナンスプランの作成	4
2.1.1. UI インベントリータブからのメンテナンスプランの作成	4
2.1.2. UI アクションタブからのメンテナンスプランの作成	4
第3章 PLAYBOOK の実行	6
3.1. INSIGHTS での ANSIBLE PLAYBOOK の実行	6
3.1.1. Insights UI からの Ansible Playbook 生成	6
3.1.2. Ansible Playbook の実行	6

第1章 はじめに

1.1. はじめに

Red Hat Insights は、Ansible Playbook を Insights のメンテナンスプランに統合する機能を備えています。本ガイドは、Red Hat Insights のユーザーが Red Hat カスタマーポータル の Insight UI を使用してメンテナンスプランと playbook を作成するのに役立ちます。Insights と Ansible Playbook の統合により、システム管理者は時間を節約し、生産性を高め、反復作業を排除し、エラーを削減またはなくすことができます。

制限

Ansible の Red Hat Insights との統合には、以下の制限が適用されます。

- 現在、Ansible Playbook の機能は、カスタマーポータルでのみ提供されているため、Satellite および CloudForms の統合では利用できません。Satellite ユーザーは、カスタマーポータルの UI 経由でこれを使用することができます。
- Insights 内でシステムを登録する際に当該システムのホスト名を変更する場合は、Ansible のインベントリーで同じ名前を使用する必要があります。同じ名前でない場合は、生成されたプレイブックは実行されません。
- すべてのルールに playbook があるわけではありません。オフリングは現在、拡張されていますが、Ansible アイコンが表示されているルールでのみ、現在利用可能な playbook があります。

前提条件

本ガイドでは、以下の条件が満たされていることを前提としています。

- Red Hat Insights が設定されていること。Insights の [スタート](#) ページで環境に合わせた手順を確認してください。
- Ansible 2.2.0 以降をインストール済みであること。
- Ansible を設定済みであること。
 - Ansible の設定ファイルで [ロギング](#) を有効にします。
 - `/etc/ansible/hosts` ディレクトリーで [Inventory](#) ファイルを設定します。
 - すべての [標準 Ansible 設定](#) が有効になっていることを確認します。
- すべてのインベントリーホストへの接続を確認します。

第2章 プランの作成

2.1. INSIGHTS メンテナンスプランの作成

Insights UI 内からは、playbook 統合によるメンテナンスプランを作成する複数の方法があります。以下に、インベントリータブ(システム中心のアプローチ)からのものとアクションタブ(ルール中心のアプローチ)からのものを示します。

2.1.1. UI インベントリータブからのメンテナンスプランの作成

Insights UI からは、脆弱性を解決するシステムを選択し、それらのシステムに影響を与えるルールを掘り下げることができます。

1. カスタマーポータル of Insights UI で、[インベントリータブ](#)に移動します。
2. メンテナンスプランに含めるシステムを選択します。
デフォルトですべてのシステムを表示するか、グループ、システムステータス、またはシステム健全性のドロップダウンメニューを使用して表示されているシステムをフィルタリングします。
3. システム一覧の上にあるアクションボタンをクリックして、**新規プラン/Playbook の作成** または **既存のプラン/Playbook に追加する** のいずれかを選択します。
4. 新しいプランを作成する場合はダイアログボックスでプラン名を入力するか、既存のプランにシステムを追加する場合は、ドロップダウンメニューからそのプランを選択します。
5. 各アクションの横にあるチェックボックスをクリックして、このメンテナンスプランで解決する脆弱性を選択してから、保存をクリックします。
プランナービューのプラン一覧の下にこのプランが表示されます。プラン番号を書き留めます。
6. 脆弱性と影響を受けるシステムを確認します。
各脆弱性では、編集をクリックするとシステムを追加または削除できます。
7. **Playbook を生成** をクリックします。

2.1.2. UI アクションタブからのメンテナンスプランの作成

Insights UI からは、個別のルールや、アベイラビリティ、安定性、パフォーマンス、セキュリティというルールタイプを選択して、これらのルールの影響を受けるシステムを修復することができます。

1. カスタマーポータル of Insights UI で、[アクションタブ](#)に移動します。
2. 対処する問題のタイプを選択します。
スクロールダウンして、システムに影響を与えるカテゴリ内のルールを表示します。
3. 対処するルールをクリックします。
4. ルールの説明に従い、スクロールダウンしてこのルールに影響を受けるシステムを表示します。
5. 修復するシステムを選択します。

6. 一覧システム上にあるアクションドロップダウンメニューをクリックし、**新規プラン/Playbookの作成** または **既存のプラン/Playbookに追加する** のいずれかを選択します。
7. 新しいプランを作成する場合はダイアログボックスでプラン名を入力するか、既存のプランにシステムを追加する場合は、ドロップダウンメニューからそのプランを選択します。
8. **保存** をクリックします。
アクションタブ (デフォルトで表示) 内のプラン名の下で、選択したシステムに適用するルールおよびアクションをさらに追加できます。または、システムタブをクリックして、ルールを適用するシステムを追加することもできます。
9. **Playbookを生成** をクリックします。

第3章 PLAYBOOK の実行

3.1. INSIGHTS での ANSIBLE PLAYBOOK の実行

Insights でメンテナンスプランを作成したら、コマンドラインを使用してプランを **playbook** として実行できます。



注記

現在、**playbook** はほとんどのルールの脆弱性で利用可能ですが、すべてではありません。**playbook** がないルールを含むメンテナンスプランでは、**playbook の生成** ボタンがグレイアウトされます。

3.1.1. Insights UI からの Ansible Playbook 生成

Ansible Playbook はメンテナンスプランの作成時に生成されるか、Insights UI のプランナータブにあるメンテナンスプラン一覧から後で作成することができます。

1. カスタマーポータルでの Insights UI で [プランナータブ](#) に移動します。
2. プランを選択します。
3. プランカードの右下にある **Playbook の生成** をクリックします。
4. `.yml` ファイルを希望のディレクトリーに保存します。

3.1.2. Ansible Playbook の実行

Ansible Playbook を実行するには、以下のステップに従います。

1. ターミナルで次のコマンドを実行します。
`# ansible-playbook <playbook>.yml`
2. **Playbook** を実行した後に、プランナーに戻って問題が修復されたことを確認します。



注記

Ansible Playbook は、Ansible Tower から実行することもできます。詳細は、[Ansible User Guide](#) を参照してください。

Revised on 2018-07-11 08:37:51 EDT